

第5学年 社会科学習指導案

1 単元（教材）名 「国土の気候の特色」

2 研究との関わり

- ・自分たちが暮らしている地域の気温や降水量を意識させ、日常の天気への興味を持たせる。（生活の場面）
- ・気温と降水量の読み取り時に、算数科で学習した棒グラフ・折れ線グラフの読み取り方を活用し、各地の気候の特色を理解する。（教科横断的）

3 本時の学習指導

(1) 目標 南北の位置や地形によって分けられる日本各地の気候の特色について考えることができる。

【思考・判断・表現】

(2) 展開

学習活動	学習内容	○指導上の留意点 ※評価 ☆教科横断 ★生活の場面
1 本時の学習課題を知る。 (1) 前時を振り返る。 (2) 本時の課題を確認する。		○季節風の特徴の確認をする。
課題 各地の気候には、どのような特色があるのでしょうか	わたしたちが暮らす地域の気候はどのような特色があるのでしょうか。	★自分が住んでいる地域のグラフを提示することで、生活の場面へつなげる。またほかの地域ではどんな気候になっているのかに興味を持たせる。
2 気候の特色を全体で確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の読み取り方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">棒グラフと折れ線グラフの学習が活きていますね。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆算数科で学習した、グラフの読み取り方を確認する。 ○学び方コーナーを参考にしながらグラフの見方を確認する。
3 日本各地の気候の特色を地形の特色と併せて考え、付箋紙に書き込む。	<ul style="list-style-type: none"> ・各地の気候の特色の確認 ・高い土地、低い土地、南北での気候の違い 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の地形の特色を振り返り、地形の特徴も思い出させながら書き込みをさせる。 ※南北の位置や地形によって分けられる日本各地の気候の特色について考えている。【思・判・表】
4 他の友達との意見交換を行い、ホワイトボードに付箋紙の貼り付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本各地の気候の特色は南北の位置や地形、土地の高さによって変わる 	○ホワイトボードを6つのくりに分け、地域ごとの特色の共有を図らせる。
5 他のグループの考えを確認する。		
6 本時のまとめをする。		
7 振り返りをする。	熊谷の気候はどのようなになっているのでしょうか。	★自分が住む地域ではどのような理由でどのような気候になっているのかを問いかける。

4 板書計画

地域によってことなる気候 課題 各地の地形にはどのような特色があるのでしょうか	上越 日本海側の気候 ・夏の気温は太平洋と同じぐらい ・冬にたくさん雪が降る
帯広 北海道の気候 ・気温が低い ・降水量が特に少ない	静岡 太平洋側の気候 ・気温が高い ・夏や秋に雨がふる
軽井沢 中央高地の気候 ・夏と冬の気温差が大きい ・降水量が少ない	高松 瀬戸内海の気候 ・太平洋と似た気候 ・降水量が少ない
まとめ 日本各地の気候の特色は南北の位置や地形、土地の高さなどによってことなっている。	